

# Lesson5 おうちではじめるDIY

「おうちではじめるDIY」では、毎回作品づくりと一緒にDIYの基礎知識を紹介していきます。第5回の作品は「ラダーシェルフ」です。丁番をつけずに、そのまま立てかけて飾ってもかわいいですよ。基礎知識はスコヤという道具について教わります。

## ◇ラダーシェルフ◇

### 材料

杉板 [A]476×24×12×4 [B]140×24×12×8 [C]300×100×10×4  
スリムビス(38mm)32本、スリム型のカラー丁番2枚、木工用ボンド、紙ヤスリ(180番)

※材料寸法は長さ×幅×厚み×枚数であらわしています。単位はmm

※板は、ホームセンターの木材カットサービスを使って入手することができます。

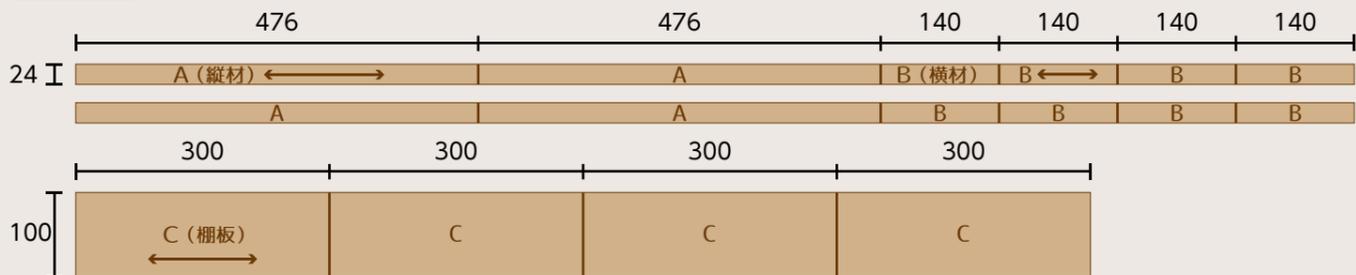
お手持ちの板のサイズに合わせて、作品の長さや幅をアレンジしてもよいです

※塗料は、ミルク原料を使用した天然由来ペイントを使用しています

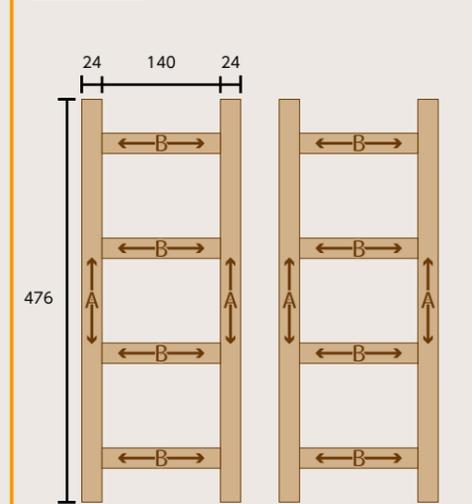
### 道具

ドリルドライバー、ドリルビット(2mm)、ドライバービット(+1)、手回しドライバー(+1)、定規、スコヤ、キリ、ヘラ(ボンド用)、塗装用スポンジ、木枠や捨て板等

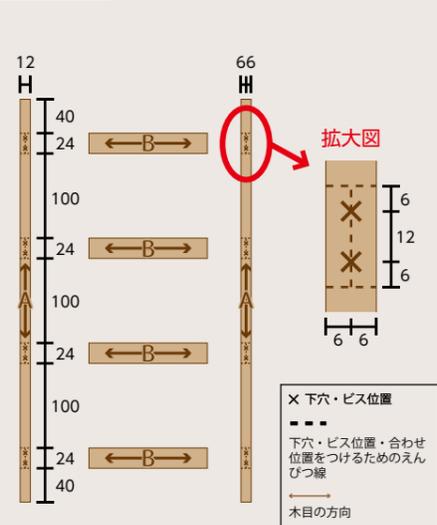
### 本取り図 単位：mm(ミリ)



### 完成図 単位：mm(ミリ)



### 加工図 単位：mm(ミリ)



講師紹介  
スマイルウッド代表  
岡さつきさん

伊賀市笠部で「スマイルウッド」おうち木工教室を開講。木でできたものが持つぬくもりと、ほっとする時間を届けたいという想いから大阪で起業。その後、木工の師匠や仲間と出会い、自宅でも開業できるおうち木工教室の講師を養成する「スマイルウッド」の代表に。2015年に古い民家を仲間と改装し、拠点を伊賀市笠部へ。木のものづくりの楽しさを広げたいと日々奮闘中。

## スマイルウッド おうち木工教室 笠部のおうち

国産杉の木工キットを使った、こだわりのDIYの木工教室を開講。木材は産地証明付き。天然素材の接着剤や植物のやすりを使い、他にはない体験ができます。60種類以上の木工キットは、コースターのような小さな作品から大人用のツールのような作りがいのある作品まで多種多様。塗装は20色のカラーバリエーションを用意。選ぶ楽しみ、作る楽しみ、使う喜びを感じていただける「おうち木工教室」。木工がはじめてという方も大歓迎。楽しみながら作品をつくるうちに、DIYの幅が広がります。体験レッスンも随時受け付け中！

**住所** 伊賀市笠部 533  
**開講時間** 水曜・土曜 13:30~17:00  
※応相談。要電話予約  
**TEL** 080-7041-6483  
**HP** <http://smile-wood.com/>



※本誌P24の伊賀ポータル通信でも掲載しています

### 作り方

- ① 定規やスコヤを使ってA縦材(内側接着面)にビス位置とB横材の合わせ位置の印をつけます。※基礎知識参照
- ② ドリルビットのずれ防止に、ビス位置にキリで軽く穴をあけておきます。
- ③ 2mmのドリルビットを付けたドリルドライバーでAに下穴(貫通穴)をあけます。木枠にのせた捨て板の上に材を置いて穴をあけます。
- ④ AとBの接着面にボンドを塗り、平らな台にクランプで固定します。AとBの接合部は同じクランプではさむとずれにくくなります。
- ⑤ ④ともう1本のAが接するすべての部分にボンドを塗り、ビスどめします。
- ⑥ 紙ヤスリで表面を整えます。木目と同じ方向にかけましょう。
- ⑦ 小さく切ったスポンジで、塗料を塗ります。
- ⑧ 丁番を置き、ビス穴の真ん中をキリで突いてから、手回しドライバーを使ってビスどめします。

### 丁番をつける位置



まず、片側のAに丁番を2枚とも取り付け、位置を調整しながらもう片側のAにビスどめします。部材の端に丁番の中心がくるようにするとよいでしょう。

ドリルを上から押さえる力が強すぎると、真っすぐ穴があかない事があるので、注意しましょう



棚板をつけるにさらにディスプレイの幅が広がりますよ

そうですね！棚板も自由に動かせるので、とても便利です！

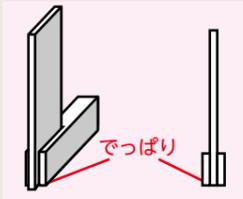


### 今回の基礎知識！



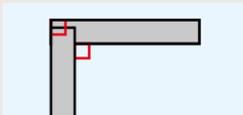
### 【スコヤを使ってみよう】

ある平面に対して垂直な線を引くときには、「スコヤ」という道具が便利です。スコヤはそれ自体が正確な直角になった金属製の道具で、薄手の部分が厚手の部分にはさまれた構造になっているので、「でっぱり」があります。このでっぱりを部材の角に引っかけて上からしっかり押さえると、ずれることなく正確な垂線を引くことができます。



### 【でっぱりを引っかけて垂線を引く】

スコヤを倒して直角の部材に当てると角にきっちり引っかけることができます。



### 【物の直角を確認することもできる！】

スコヤを物に当てて少しのすきまもなければ、それは直角だということになります。



ひとさし指でスコヤが浮かないように押さえ、残りの指で部材とスコヤをしっかりとはさんで固定してから、垂線を引きます。



スコヤのでっぱりが部材にしっかりとつかない場合は、部材の向きを変えてスコヤがかかる状態にして使います。

### おすすめディスプレイ



サイズ違いの作品を組み合わせてディスプレイしてみました。同じものを二つ作って並べて置き、長めの棚板をのせると四角いシェルフとしても使えます。折いたんで移動や収納も楽にできるので便利です。※今回の作品は、スマイルウッドでも体験できます